

電子情報工学科のカリキュラムについて

1. 教育理念

現在、情報処理技術の飛躍的な進歩は社会における電子情報システムの役割を質的に変えており、「IT 革命」と呼ばれるまでに至っています。このような状況において、時代に応じた最新の情報処理技術を持つ技術者を養成することは、社会からの強い要請です。そこで、本学科では、福岡大学工学部の教育理念「十分な社会的良心に基づいた責任感を有し、時代に即応した判断力と、科学技術を以て社会の持続的発展に貢献する人材を育成すること」に基づき、常に時代の要求に応じた新しい電子情報システムを構築することのできる技術者を養成することを教育の理念としています。

2. 教育目標

福岡大学工学部の教育目標「工学（技術）者に求められる豊かな創造性と実務に即した応用力を育成するために、十分な基礎学力にくわえて深い専門の科学技術を教授し、さらに幅広い教養を修得させて調和のとれた人格の発達を促す」に基づき、社会の変化を正しく理解するための教養と判断力、理性を備えた技術者を養成することを目標としています。専門分野においては、電子工学と情報工学の基礎を理解し、情報システム工学あるいは電子情報工学の技術開発に寄与できる技術者を養成することを目標としています。具体的には、コンピュータ・ソフトウェアの知識を有する電子工学技術者と電子工学の知識を有する情報処理技術者を育成します。

3. 教育方法

上記の教育目標を実現するために本学科で行っている具体的な教育方法を次に示します。以下の内容は2015年度以降の入学生を対象とした記述になっています。2014年度以前入学の学生は入学時に配布したシラバスを参照してください。

- (1) 1年次に電子工学と情報工学に共通の基礎科目を履修した後、学生は希望と適性に従って電子通信コース、情報コース、情報システムコースのいずれかを選択します。電子通信コースでは電子工学と通信工学、情報コースと情報システムコースでは情報工学をより深く学習します。情報システムコースは日本技術者教育認定機構の認定を取得した教育プログラムです。
- (2) 2年次以降、学生は各コースのカリキュラムに従って学習しますが、共通科目および関連科目を通して電子工学と情報工学の関連を常に意識しながら学習します。
- (3) (2)の目的のために科目関連図を図1に示します。
- (4) (3)と同様に座学と実験・演習科目の関連性を、科目関連図を用いて周知徹底します。
- (5) 社会の変化を正しく理解するための教養と判断力、理性を備えた技術者を養成するための講義（情報職業論）を4年次に配置します。

(6) 1年次に電子情報工学への興味を駆り立てて学習意欲を向上させるべく、応用システムや研究の紹介などを行う科目（電子情報工学特論）を配置します。また、2年次後期と3年次後期には学生を各教員で分担し、専門的な実験・演習を小人数制で行います（電子情報基礎演習、電子情報工学特別演習）。

(7) 学部教育の目標は基礎科目の理解を徹底させることとし、高度に専門的な内容は大学院に委ねます。